

# クロホシコガシラミズムシ

*Haliplus basinotatus* Zimmermann  
コウチュウ目・コガシラミズムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

県内では2015年に越前町内の溜池で初めて見つかった。県内の生息に関する情報は不足しているが、全国的に減少している種であり、本県でも生息情報を把握すべく今後調査が必要である。

## 種の特徴

体長3.5～3.9mm。上翅の基縁には黒い横帯がある。上翅会合部の黒条は細い。水質が良好で、水生植物が多い池沼の浅い水域、湿地、水田等に生息する。詳しい生態は不明である。

## 分布

北海道～九州に分布。県内では越前町内の1地点で確認されているのみである。

## 生息を脅かす要因

県内の生息地は水生植物も豊富で、外来種も侵入していない良好な溜池である。開発による池沼の消失、溜池の管理放棄に伴う水質の悪化等が生息を脅かす要因となる。アメリカザリガニ等侵略的外来種の侵入も脅威となる。

参考文献 環境省(2015)、野一色・村上(2015)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○										

# キボシケシゲンゴロウ

*Nipponhydrus flavomaculatus* (Kamiya)  
コウチュウ目・ゲンゴロウ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

## 選定理由

今回の調査では嶺南地方の2地点で新たに生息が確認された。関東地方以西での分布は極めて局地的になりつつあり、本県でも、注視が必要であると判断した。

## 種の特徴

体長2.5mm内外。体型は短楕円形。頭部は黄褐色で胸部と上翅は黒色。上翅には黄色の斑紋がある。低山地～山地の清流に生息する流水性のゲンゴロウで、本流岸辺の岩影等の流れの緩やかな水域や、よどみの石の下等で採集されるという。

## 分布

北海道～九州に分布。県内では坂井市丸岡町川上で記録があるのみであったが、今回の調査でおおい町口坂本(南川)と同町鹿野(佐分利川)で採集された。

## 生息を脅かす要因

護岸工事を含めた河川改修が脅威になると考えられる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会(1998)、環境省(2015)、森・北山(2002)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○									○						

# ケシゲンゴロウ

*Hyphydrus japonicus* Sharp  
コウチュウ目・ゲンゴロウ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

全国的には都市部周辺で減少傾向がいちじるしい。神奈川県では絶滅危惧ⅠA類に指定されている。本県では環境の良好な溜池、水田に生息していて、環境の悪化に伴う減少が心配される。

## 種の特徴

体長3.8～5.0mm、体型は短卵型。上翅に複雑な暗褐色紋を持つ。池沼、放棄水田等の止水域に生息する。幼虫・成虫ともに肉食と考えられるが、詳しい生態は不明。

## 分布

国内では北海道～南西諸島にかけ広く分布する。今回の調査では嶺北地方の比較的広範囲で生息が確認された。嶺南地方では高浜町で確認された。

## 生息を脅かす要因

生息地の開発による消失、水質の汚染、アメリカザリガニ等の侵略的外来種の侵入。比較的環境の良好な水域にのみ生息することから、環境の悪化により急激に減少する可能性がある。周辺環境を視野に入れた生息環境の保全が望まれる。

参考文献 環境省(2015)、森・北山(2002)、福井県自然環境保全調査研究会(1998)、福井県自然環境保全調査研究会(1985)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○		○		○			○	○	○	○				○